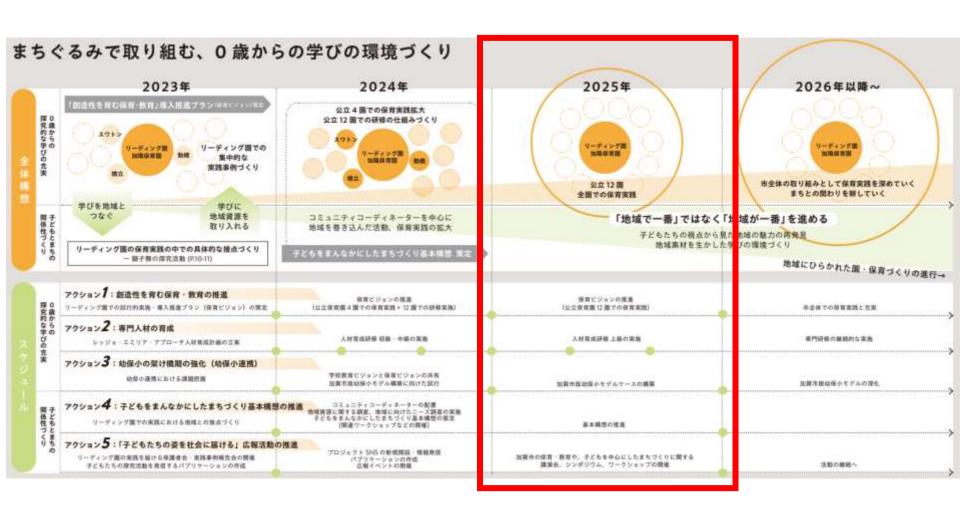
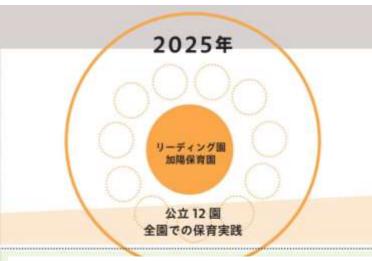
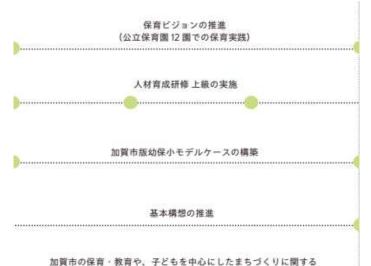
# ①創造性をはぐくむ保育実践事業





#### 「地域で一番」ではなく「地域が一番」を進める

子どもの視点から見た地域の魅力の再発見 地域素材を生かした学びの環境づくり



講演会、シンポジウム、ワークショップの開催

#### アクション1 創造性をはぐくむ保育・教育の推進

公立全園での保育実践 テーマ「まちってなあに」 保育実践への伴走支援を継続・拡充

(連続した4日間の支援)

保育カリキュラムの見直し 保育教育課程、保育フォーマット、人材育成計画など

#### アクション2 専門人材の育成

加賀市版 まちのアカデミー(往還型研修)全5回ドキュメンテーション研修

専門人材研修

訪問研修(まちの保育園・こども園)

#### アクション3 幼保小の架け橋期の強化

幼保小連携推進協議会 3回

全体研修会 2回

#### アクション4 子どもをまんなかにしたまちづくり

こどもと共に歩むまちづくりversion 1の策定

アクション5 「子どもたちの姿を社会に届ける」

#### 広報活動の推進

保育園の活動から生まれた子どもたちの表現や保育 実践の様子を効果的にプロモーションする。 2

別紙1 それぞれのこどもから見た「こどもまんなかチャート」

出典:はじめの100か月の育ちビジョン

なぜ、こどもと共にまちづくり?

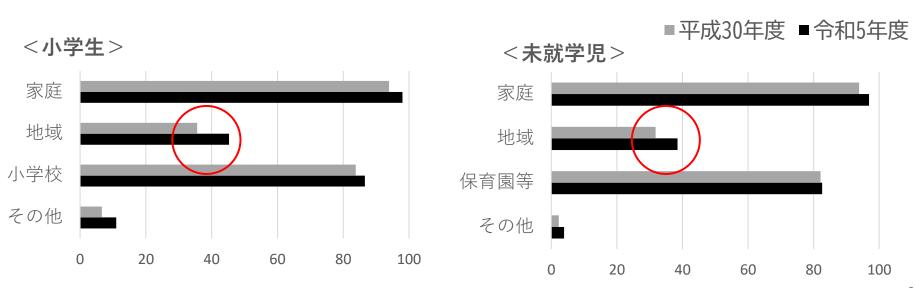
保育所保育指針保育所の社会的責任

・はじめの100か月の育ちビジョン こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

・保育現場では、地域の人々と共にこどもたちの声や姿を受け とめ、こどもたちの学びにつなげる実践が積み重ねられている こどもは「未来の主役」ではなく「今を生きる一人の市民」

### なぜ、こどもと共にまちづくり?

- ・こども計画アンケート調査 Q.子育てにもっとも影響すると思われる環境について
  - A.「地域」の割合が、平成30年調査と比べて増加



# Version. 0 (案)

"こどもと共に歩むまちづくり"がめざすもの

こどもも大人も一市民として、主役になって考えるまちづくり

自分の表現や行動が大事にされるまちづくり

こどもを含む市民一人ひとりが、創造性を発揮し学び合うことで、ウェルビーイングの向上と、シティプライドの醸成を図り、

「帰ってきたくなるまち」「住み続けたいまち」を実現する。



### "こどもと共に歩むまちづくり"における視点

### 1.こどもの声を聴く

こどもは生まれながらに豊かな創造性をもつ、大切な一市民 まちづくりにおいて、こどもたちの声、姿を聴き、取組に反映していく。

### 2.こどもと大人の協働によるまちづくり

こどもと共に、大人もまた、生まれながらに豊かな創造性をもつ存在 まちづくりにおいて、こどもたちの声、姿を聴き、大人も感じたことを声にし、 共に学び合い、実行していく、こどもと大人双方向の市民文化を育む。

## 3. 世代をつなぐ持続可能で創造的なコミュニティづくり

まちづくりのプロセスにこどもたちも参加することで、持続可能で創造的なコミュニティが生まれる可能性に希望をもつ。



#### 取組みの方向性

#### まち(市民)からこどもへのアプローチ

①市民とこどもの接点づくり

大人とこどもが対等な立場で、対話・ 学び合う機会を創出する。

②地域資源の発見

地域に眠る魅力を再発見し、まちづく りに活かします。

③学びのフィールドや素材提供

こどもたちが学び、創造性を発揮できる場や素材を提供

こどもからまち(市民)へのアプローチ

子どもの姿、学びの様子

#### 加賀市こども計画

基本目標

- 1 わたしたちと 地域がつながる まちづくり
- 2 ウェルビーイングな 生活ができる まちづくり
- 3 安心して 子育てができる まちづくり

# Version.0 (案)

#### 推進体制

#### まち(市民)からこどもへのアプローチを意見聴取を行い、version.1に反映

2025年 2026年2月

【ワークショップの開催】

·開催単位:市内6地区(中学校区)

・対 象:まちづくりに関心のある大人

(保護者、地域住民、

保育・教育関係者、

NPO関係者、行政関係者など)

意見聴取

こどもと共に歩む まちづくり version.1

【部内横断ワークショップの開催】

· 対 象:市役所市民健康部各課

#### こどもからまち(市民)へのアプローチ

こどもの姿、学びの様子を提供 こどものこえ展

